



南十字星

発行者
クイーンズランド
補習授業校
校長
丸山吉信

第二学期の開始に当たって

七月十一日に第二学期の始業式があり、いよいよ二学期が始まりました。子供たちの元気な姿と笑顔がキャンパスに戻りました。

全校朝会では、始業式に続いて、八月十五日の運動会のための応援案内があり、中休みにはその練習が行われました。

二学期は九月十九日までの十一週です。今学期で小学部では前期の教科書を終え、三学期からは後期の教科書に入ります。不安な単元を残さないよう、何度も教科書を読み、よく考えるようにして下さい。

二学期は教科書の勉強だけでなく、補習校の大きな行事である運動会が行われます。今年も学習指導要領に記載の「集団への帰属感や集団行動の体得、責任感や連帯感の涵養」を目標に行われます。この目標は日本の初等中等教育における大変重要なテーマです。一昨年は赤組、昨年も赤組が勝ちました。まもなく自分が赤か白かわ

かります。赤になった人は三年連続優勝を目指して下さい。また、白の人は今年こそ勝利を収めて下さい。

理社学習報告 (続き)

二年二組

ぴよんぴよんウサギを作ると分かった段階で、子供達はもう大喜びでした。今年度は二時間授業だったので、じっくり取り組めました。紙コップに開ける穴の位置を決めるのが難しいのですが、その段階から全て子供達が行っていました。必要最小限の援助で、苦労しながら自分で作ったので、仕上げた時の喜びも大きかったです。最後の感想発表では、「友達と飛ばす競争をして楽しかった」と同じぐらい「難しかったけど、出来上がって嬉しかった」と言う感想が多かったです。もっとよく飛ばすための工夫として、「最初はあまり飛ばなかったもので、ゴムを少しゆるくしたら飛ばようになった」との感想もありました。ゴムをしっかりと伸ばせば飛ぶ距離が伸びる

ことを、友達と何度も飛ばしっこをする中で体感できたと思います。

三年二組

〔理科〕

導入時に、動物と人間との生活の仕方についての違いについて、児童たちに発問しました。元気よく手を挙げて、家に住んでるかどうか、衣服を身につけているかどうか、学校や先生があるかどうか、などたくさんのお返事がありました。「火を使えるかどうか」や「電気を使えるかどうか」の回答も期待したのですが、児童のみなさんからは、出なかったもので、火と電気の大切さについて、少し話しました。

次に、用意した豆電球、単四電池、導線、LED(発光ダイオード)などで、次の実験をしました。

実験一 豆電球、単四電池、導線を渡して、予備知識を与えずに、豆電球を点けられるか、トライアンドエラーをさせましたが、ほとんどの児童がそれらを一列につなぐだけで、輪にすることができず、点灯させることはできませんでした。そこで、先生が点ける見本を見せて、確かに点くことを確認しました。

実験二 LED、単四電池二本、導

線を二人一組にして、児童全員に配布して、点灯させる実験をしました。比較的早い段階で全組が点灯に成功しました。それを配布した実験ノートに絵を描かせて、電池のプラスとマイナスから、輪になるように配置することでLEDが点灯することを確認しました。また、この配線の輪の状態を「回路」と呼ぶことも確認しました。

さらにこのあと、電気を通すもの、通さないものの実験をする予定でしたが、時間の都合で割愛しました。なお、家庭用電気でのような実験を絶対にはないよう、もししたら命の危険があることを繰り返して厳重に注意しました。

四年生

〔社会〕

「かわってきた人々のくらし」の単元を読み進めました。日本にある古いものについて、教科書の写真を見ながら愛媛県松山市にある松山城は四百年以上も前からあることや、百年以上前の列車「坊ちゃん列車」が松山市内を走っており、着物を着た人が、観光案内をしてくれるなど、百年前の日本を体験することができることを知りました。また、教科書には昔の道具の写真が載っており、電気がなかった

時代にはオイルランプで灯りを燈し、冷蔵庫は氷を入れて冷やしたこと、アイロンは炭を入れて使っていたことを説明しました。蓄音機はレコードを鳴らすものと説明しましたが、レコードを実際見たことのある児童はほとんどなく驚きました。児童の中からヘッドホンをつけたDJが、曲に合わせて手で回して音を出しているのを見たことがあるという話が出て、時代の移り変わりを感じました。

〔理科〕

「電池のはたらき」について、まず教科書とワークシートで回路を流れる電気を電流といい、電流には大きさを向きがあること、簡易検流計で電流の大きさと向きがはかれることを知りました。また、モーターを速く回すには乾電池を二個使えばいいことと、直列つなぎと並列つなぎがあり、回路図もかいてみました。直列つなぎでは乾電池が一個の時よりもモーターが速くまわり、並列つなぎでは乾電池が一個の時と変わらないことを学習しました。また、光電池のはたらきと発光ダイオードの特長についても確認しました。その後、実験を行い、豆電球や風車を付けたモーターを使い、電流の向きが変わると、風車の回転が逆に

なることや、乾電池一個の時、乾電池二個直列つなぎ、並列つなぎの時の風車の回る速さの違いを見ました。時間が足りず、全員が並列つなぎを完成できなかったこと、光電池を使った実験ができなかったことが残念です。

全校朝会スピーチ

六月二十七日

中三 松井美咲

明日から冬休みが始まります。皆さんは長い休みをどのように過ごしますか。キャンプへ行ったり、家族と日本に帰ったり、色んなことをしたいです。すよね。でも、もうひとつやらなければいけないことがあります。「宿題」です。現地校からは出されなくてもいいかもしれませんが、補習校からは必ず出されまます。お母さんに宿題をしないと言われるけど、やる気が出ないからしないという子がいると思います。私の読んだ本には、ある大学の実験のことが書かれていました。十二枚のプリントを二時間続けた子供と三十分間ずつに分けてさせた子供の実験です。すると三十分間ずつやった子供の方がプリントが四枚多く終わったという実験結果が出ました。この冬休みの間は、

自分が三十分間でできると思った容量のプリントやワークを決めて宿題をしてみてください。きつと以前よりも集中できるし、宿題も早く終わると思います。それでは、この二週間を存分に楽しんで下さい。

図書室からのお知らせです。図書室を入れて右側の棚に新書コーナーが設けられています。休み前なので、今週の本の貸し出しの上限は六冊です。

季節の話題

今こちらは冬ですが、日本は猛暑が始まる時で、この時季にはあちこちで朝顔市が開かれます。見事に育てられた青や紫、赤、ピンク、しぼりなどの朝顔が行燈仕立ての鉢に植えられ、一鉢二千元ぐらいで売られます。

しかし、ここオーストラリアでは、朝顔を鉢植えにしたり、庭に路地植えにしているのを見たことがありません。ここでは、モーニンググロリーは、あくまでもウィード(雑草)で、庭にあつたりしてはいけないものとして扱われています。朝顔を観賞用の花として育て、愛でるのは、どうも日本人だけのようです。写真はブリスベン郊外の野原で撮影したものです。雑

草とするにはもったいない気品があると思いませんか。

朝顔や 一輪深き 淵の色 蕪村



今後の予定

- 十月二十四日まで
 - ・教育相談期間
- 七月十八日
 - ・教員研修
- 八月十五日
 - ・第二回運営委員会
- 八月二十二日
 - ・社会科学習日(運動会 予備日)
- 九月十二日
 - ・文集原稿締切(幼稚部 は十一月七日)
- 九月十九日
 - ・第二学期終業式
 - ・成績通知表配布